

令和4年度 第6回 月例実務研修会アンケート集計結果

テーマ／講師：「設計と施工の乖離について」／松尾建設㈱ 梶木健司 氏

テーマ／講師：「GEOTETS工法(土留部材引抜同時充填工法)について」／GEOTETS工法研究会 中野洋平 氏

2022/10/15

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
1	29	11	<ul style="list-style-type: none"> 施工の事例を踏まえた研修で、大変勉強になった。 	<ul style="list-style-type: none"> なし。 	<ul style="list-style-type: none"> なし。
2	43	22	<ul style="list-style-type: none"> 設計時の仮設計画では、施工が困難な事例を多く説明され、施工時の手戻りが無いよう注意しなければと思った。 土留部材引抜同時充填工法については、県内実績が8件と少ないが、近接構造物への損失防止となるため、参考になった。 		
3	25	5	<ul style="list-style-type: none"> 軟弱地盤である佐賀でよく用いられる土留・地盤改良が中心の内容だったので、イメージし易かったです。 過去行った土留検討では、重機の荷重は考慮していましたが、掘削残土は考慮出来てなかったと思いました。 		
4	49	30	<ul style="list-style-type: none"> 現場施工時の問題点については、近年痛感している所です。細かい内容で、大変役に立つ内容でした。 	<ul style="list-style-type: none"> 十分でした。 	
5	70	46	<ul style="list-style-type: none"> 日頃は施工業者との接点が少ないので、貴重な話が聞けました。 コンサルが12月～3月の多忙な時期と施工の重要な部分の工事の進捗時期が重なっており、設計した現場の見学にもなかなか行けない状況です。 もっとコンサルと施工会社の交流が増えればと思います。 同時充填引抜工法は、大変勉強になりました。よく開発されたと感心しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁度良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> タイムリーな講演で勉強になりました。
6	48	38	<ul style="list-style-type: none"> 施工の大変さが分かり易かったです。 設計時の注意することが分かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> とても良い。 	

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
7	63	33	・特に問題ないと思います。	・問題ないと思う。	
8	59	41	・設計と施工の乖離については、設計を行う上で施工現場の状況を知ることが重要であるということが再認識させられる講習であった。 こうした内容の話は、若い技術者に聞かせたい話であり、大きい会場で若い技術者等を対象にした研修会として、来年度にでも実施して欲しい。		
9	48	24	・施工について考慮した設計を慎重に行う必要を考えさせられた。 ・発注者に設計内容を十分に理解してもらえるように、報告書等への注意書きの書き方を検討しようと思った。		
10	19	1	・設計者、発注者、施工者の各々の立場で主張することがあるので、お互いのことを知っていくことが大切だと思った。		
11	53	26	・通常の測量・設計業務においては、直接施工の現場に携わることがありません。 本日、設計と施工の乖離についての講義はとても有益なものであります。乖離となる要因の洗出しの中で、施工上の経験と本当の安全率は実際の現場状況は計り知り得ることは難しいところであるとのことでした。大事なのは現場状況と設計書を理解し、良い意味で疑念を抱くのが大切だと思われます。 事例の中で、現場での問題と対策があげられた中で、設計時と現場施工時の状況の差が大きく状況を変えていることを実感しました。		
12	20	1	・施工業者の方の意見を聞くことができ、大変ためになりました。また良いものを作るためにも、設計者、施工者、発注者がそれぞれの意見を聞き入れることが大事だと分かった。 ・同時充填工法では、矢板を引き抜く際に、周りに影響を殆ど与えずに引き抜きができると分かった。矢板の引き抜きの際には基本的にこの工法を使った方が良いと思った。	・良かった。	・なし。

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
13	69	45	<ul style="list-style-type: none"> 大変貴重な話を聞けたと思います。施工の話は聞く機会がなく、有難いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中に休息が欲しかったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、施工及び現場の視察等があればと思います。
14	24	2	<ul style="list-style-type: none"> 設計と施工の乖離について、現場対応例を交えながら説明をして頂いて、分かり易かったです。自分は設計の面でのことしか考えたことがなかった。報告書で施工時の申し送り事項があるが、ここに記載するだけでなく、図面に図示する、施工者に伝えることが大事と感じた。設計者は施工面のことを知り、発注者に伝え、それを施工者に理解してもらうことが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会、進行はスムーズで良かったと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> 無し。
15	45	22	<ul style="list-style-type: none"> 実施工での事例やアドバイスが聞けて、大変有意義であった。施工事例として多い小規模な工事や中小の施工業者からの話も聞ければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 少々足早に感じたが、紹介事例の数を考慮すれば、適度な進行だったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場は机もあり、広さもスクリーンの画像が見やすい程度で、良かったと思う。
16	53	32	<ul style="list-style-type: none"> 設計の際に考えさせられる事例があり、今後に活かしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間毎ぐらいで休憩を入れて欲しい。
17	47	18	<ul style="list-style-type: none"> 設計と施工の乖離について 以前もお話しして頂いた内容を元に、その内容に追加された事例もあり、いかに乖離にも多様なことを物語っていると感じました。コンサルタントとしてできる事としては、やはり申し送り事項をしっかり残す事が重要と思いました。 GEOTETS工法について 本研修により、沈下抑制の仕組みはおおよそ理解できました。提案していくかについては、今後も動向を見て判断する必要があると思っております。 	<ul style="list-style-type: none"> 1階ホールが会場であった時に比べて、スクリーンまでの距離が近くて見易かったです。 窓が大きく開けられており、コロナ対策に配慮されている点が良いと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
18	62	39	<ul style="list-style-type: none"> 設計と施工の乖離について、具体的な事例をあげて説明して貰い、乖離点や実際にとられた対応策等が分かり、大変参考となり勉強になった。設計上の留意点等は図面等に記載するように留意していきたい。 GEOTETS工法について、分かり易くテキストを用いて説明して貰い、勉強になった。構造物に近接した場所での鋼矢板引き抜きには有効な工法の一つであることが分かった。 		

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
19	68	42	<ul style="list-style-type: none"> 前半の講演では、施工とコンサルの乖離について、話をして頂いた。施工業者とコンサル間の乖離については、昔から大きな問題として取り上げられてきた。品質確保検討会において三者協議や二者協議の推進を図られてきたが、余りその効果は出でていないような気がする。やはり施工者、コンサル、発注者の三者がいかに互いの立場を考え、最終目標である社会資本整備の充実の為に努力していくことを再確認する必要があるという結論である。 後半の講演は、今まで問題となってきた鋼矢板の引き抜き時の悪影響対策の説明をしてもらいました。佐賀でも起っている事なので、今後機会があれば、発注者にも紹介してみようと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。
20	72	48	<ul style="list-style-type: none"> 「設計と施工の乖離について」 施工者の実際の経験からの話で、分かり易く勉強になった。 「GEOTETS工法」 佐賀平野の軟弱土壌では有効ではないかと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に支障なし。 	
21	48	15	<ul style="list-style-type: none"> 「設計と施工の乖離について」 土質調査による地盤構造の十分な把握が必要である事を示されていた様だった。設計に用いた試験のデータと施工における現場のデータは必ずしも一致しないため、施工上色々な問題が生じる事は納得できるし、実例がいくつも書いてあり、分かり易く纏めてあったと思う。2時間ぶつ続けてやられたのが、少し辛かった。5分等小分けでもいいので休みたかった。途中から内容が頭に入ってこなくなったので。 「GEOTETS工法について」 土留部材引抜同時充填工法は、施工しないパターンと施工したパターンの比較があり、分かり易かった。従来工法より、合理的で経済的には少しかかるかもしれないが、変状が出ないようにするには極めて有効であると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> スムーズにされていたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ないです。
22	65	40	<ul style="list-style-type: none"> 設計と施工の乖離については、施工発注時に三者調整会議が必要であると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間に1回5分程度の休息があればと思う。 	

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
23	47	25	・沢山の事例を紹介して貰って、良かったと思います。	・良いと思います。	・事前に資料をPDF等で頂きたいです。カラーの資料が良い。
24	64	20	・土質調査箇所数については、設計時に提案しても発注者の方で予算の関係で削られる場合が、特に市町では多い。簡易貫入試験等、安価な試験で対応し、N値等を推定する事になるが、発注者が必要性を認識して頂く必要がある。 ・施工時の安全率については、設計段階で施工計画を立てて、想定される施工条件での設計計算にならざるを得ない。施工者の方で再検討すべきものと考えます。 ・色々な施工事例を紹介して頂き、大変参考になりました。	・問題ありません。	
25	49	27	・設計と施工との乖離について、具体的に話が聞けて、ためになった。	・スムーズで良かった。	
26	39	18	・GEOTETS工法は充填するだけでなく、硬度を硬くし過ぎない事で、その後の利用まで考えたものだと初めて知れた。工法の意図が良く分かった。		
27	45	20	・施工の立場からの話が聞けて、参考になりました。	・特になし。	・特になし。
28	49	27	・施工の観点から設計の乖離の現状を聞けて、参考になりました。	・特に問題ありません。	・特にありません。
29	49	27	・施工現場での問題点については、今後の設計業務に非常に役立つので、この様な講習会を増やして欲しい。	・問題ない。	・施工現場での問題点については、今後の設計業務に非常に役立つので、この様な講習会を増やして欲しい。
30	62	40	・施工業者からの立場の説明で、役立つ。	・問題なし。	
31	66	40	・施工実績による事例より、対策等から更に詳細に詰められると、更に良いと思う。		・設計中に施工業者に疑問点を取り上げて貰える部署を設置して貰いたい。
32	58	36	・現場と設計の乖離について、様々な課題があり、これらの課題を受け止めて設計に活用していくことが必要だと思う。技術者の経験をもっと深めていくことが望まれる。	・流れとして良かった。	・特にはありませんが、この様な事例集を協会として纏めて欲しい。

番号	年齢	実務経験	研修内容 (事例発表・意見交換方式)について	進行について	その他要望・意見
33	42	21	<ul style="list-style-type: none"> 設計と施工の乖離について、設計側の立場として留意しているものの耳が痛いところも多かった。苦労をお掛けしている現状より、我々もレベルアップするべきと感じました。 一方で、発注者が理解していないという問題は設計、施工側にとって今後どうしていくべきかと考えました。 土留部材引抜同時充填工法は、近年道路管理者より仮設材の撤去を求められることが増えたため、有効と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例が多く、分かり易かった。 	
34	37	5	<ul style="list-style-type: none"> 実際に計画、設計途中で施工区間の土質データとの乖離が明らかになったりすることがあるので、具体的に対策方法の説明はとても勉強になった。 GEOTETS工法は、専用の充填剤が独特で興味深かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中手元にある資料にない図面がスクリーンに表示されて混乱したので、手元の資料にないものについては、そのことを説明して欲しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 机がある大會議室での開催は有難かった。
35	57	37	<ul style="list-style-type: none"> 「設計と施工の乖離について」は事例を含め良い。 「GEOTETS工法」設計に反映せせるのに良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い。 	
36	43	23	<ul style="list-style-type: none"> 事例を交えながらの講義であったため、とてもためになった。 GEOTETS工法は今後、採用する場面が多くなると思われることから、とても勉強になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。